

令和4年度 ワークセンター夢の樹就労定着支援 事業報告書

1 総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の流行が続いたが、企業や支援機関、利用者がコロナ禍での定着支援に適応し、支援に大きな影響はなかったと感じる。年度当初の利用者11名全員が就労を継続し、内3名は利用期間満了となった。

経営的には、定着実績に応じて基本単位数が大きく変動する報酬体系が続く中、令和3年度までの職場定着実績と令和4年度の新規利用者4名の受入もあり、安定した経営を維持できた。一方で、給付費の1割負担の影響により1名が自主的に利用を終了した。給付費の1割負担による利用終了については、数年来の経営的課題となっている。

2 事業概要

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労定着支援
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-3
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 なし
- 6) 利用現員 11名（令和5年3月31日時点）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成30年 5月 1日
- 9) 職員 管理者 1名
 サービス管理責任者 2名（兼務：常勤換算1.2）
 定着支援員 1名（常勤換算0.3）

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現。
 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
 安心と希望のもてる生活。

- 4 基本方針 相談を通じて就労や生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を実施する。

5 実施事業（活動内容）

1) 定着支援の流れと支援機関の役割分担

- | 就職後の期間 | 支援機関 |
|-------------|-------------------------------------|
| ・就職後6か月未満 | ・・・直前利用の障害福祉サービス事業所（就労移行支援・就労継続支援等） |
| ・就職後6か月以上 | ・・・定着支援事業所ー利用期間3年 |
| ・就職後3年6か月以上 | ・・・就労生活支援センター、就業・生活支援センター等 |

2) 定着支援の内容

(1) 本人支援

- ①職場定着支援計画（個別支援計画）の作成及び評価と見直し。
- ②電話での相談対応。（随時）
- ③就職者本人と原則月1回以上の面談。ただし本人の状況に合わせて実施する。
- ④原則月1回の職場訪問。ただし、本人及び企業の状況に合わせて実施する。
- ⑤本人了解の基、家庭、関係機関等との情報共有及び支援の連携。
- ⑥新型コロナウイルスへの感染や雇用継続に対する不安感の軽減。

(2) 企業支援

- ①定着支援事業所の業務内容の説明。
- ②雇用継続のための相談対応や助言、関係機関の利用。
- ③障害者雇用に関する情報提供。

6 重点課題・目標

1) 活動

(1) 定着支援の充実

- ①本人支援・・・利用者個々に応じた定着支援
安定した勤務を継続し、社会人として自立できるよう支援する。本人とはできる限り月1回以上面談を行い、困り事や不安感、体調などを確認し必要なアドバイスを行う。
- ②企業支援
企業の要望や悩みを丁寧に聞き取り、解消するためのアドバイスや対策を行う。また、利用者の特性や配慮事項、適している業務内容などを伝え、利用者が働きやすい環境作りや雇用継続につなげる。
- ③コロナ禍での定着支援
ア、本人と企業双方の支援にオンラインを活用する。
イ、利用者が不安に感じていることへのアドバイスや対策を行うとともに、周辺の状況を正しく伝達することで不安感の解消を図る。
ウ、新型コロナウイルスの影響で自宅待機となった利用者の就労移行支援での受け入れに取り組み。通所することで体力低下を防ぎ、生活リズムを維持するとともに、面談等で精神的な安定を図る。
- ④就労支援センター等関係機関への引継ぎ
利用期間満了や利用を終了する利用者の支援を就労支援センター等関係機関へ引継ぎを行う。利用者とは、当事業での支援が終了しても就労支援センター等関係機関による支援が継続することを説明する。

【成果と課題】

- ①②③利用者との月1回以上の面談及び企業訪問により、利用者、企業双方の状況や意向の確認に努めた。在宅勤務や職場訪問が難しい利用者とは、自宅への訪問や当事業所への来所、オンラインによる面談を行い、また、訪問が難しい企業とはメールや電話で情報交換等を行った。離職者はなく、体調不良により勤務が安定しない利用者2名を除き、大きな問題なく概ね安定して勤務が継続できている。体調不良の2名について、企業側の理解もあり、年度末時点で雇用が継続出来ている。新型コロナウイルスの影響は続いており、11名の利用者の内、3名の利用者は在宅勤務と出社の併用が続き、高齢者施設で勤務している別の2名も職場訪問がほぼ行えなかった。また、利用者3名（同一企業に勤務）は、感染拡大防止のため、勤務先の5日間の休業があったが、大きな影響は見られなかった。
- ④就労支援センターへ4名の支援の引継ぎを行い、全員が就労を継続中である。内3名は当事業の利用期間満了による利用終了で、他1名は給付費の1割負担が生じたことにより、本人が利用終了を希望した。利用期間満了の3名は、利用期間満了の前に就労支援センター職員と職場訪問し、本人や企業担当者とは今後の支援について打ち合わせを行った。給付費の1割負担が生じたことで利用を終了した利用者は、在宅勤務を中心に安定して就労を継続していた利用者で、就労支援センター職員が当事業所を利用する前の支援者だったこともあり、支援者の変更や支援頻度が減ることに不安を感じてはいないようであった。企業は支援者が変わることに不安を感じていたが、支援引き継ぎ後10か月経過し、大きな問題なく勤務は継続している。

(2) 業務の効率化

- ①企業訪問のスケジュールの効率化。
- ②スケジュールアプリの活用による情報共有の強化。

【成果と課題】

- ① 利用者が複数在籍している企業では訪問時に全員と面談することや、場所の近い企業を同日に訪問するなど、スケジュールを工夫した。
- ② 令和2年度から導入したスケジュールアプリにより、職員同士お互いのスケジュールを外出先で把握し、効率的な訪問が行えた。

2) 人材育成

【到達目標】

- (1) リーダー層の育成
- (2) 業務標準化の実施

【成果と課題】

- (1) 他事業所の職員を含めリーダー候補者の選抜を行った。候補者は実地研修で適正を確認しているところであり、令和5年度も実地研修を行う予定である。
- (2) ミーティングで支援内容を共有している他、2人体制で訪問や面談を行うことで、支援方法などについて意見交換が活発に行え、概ね統一した方針で支援にあたれていると感じる。

3) 経営管理

(1) 訓練等給付費収入の安定

新規利用者の確保一年間目標人数4名

※令和4年4月1日現在11名（年間黒字収支には10名の利用者が必要）

- ①近隣の関係機関リストをもとに、ワークセンター夢の樹就労移行支援と連携し、近隣の特別支援学校、就労支援センターなどへ利用者募集を行う。コロナ禍での活動として、訪問が難しい場合は電話やメール、オンライン面談を活用し、関係性の継続と強化を図る。過去の紹介実績を基に、効果の高い関係機関に重点を置くと共に新規の関係機関の開拓を行う。
- ②給付費の1割負担の影響による自主的な利用終了に対し、利用者には定着支援事業の必要性や、就労支援センターと比べて支援の頻度が高いことなどを丁寧に説明するとともに、企業には1割負担分を何らかの手当で本人に支給する方法などを提案する。

【成果と課題】

4名が新規に利用を開始し、利用者確保の目標を達成した。令和4年度末の月平均利用者数は10.2名となり、黒字収支となった。

- ①新型コロナウイルスが流行している状況を鑑み、紹介実績や過去に訪問したことのある支援機関に重点を置き訪問した。利用希望者の紹介には結びつかなかったが、情報交換を行う等、関係性は継続できたと考えている。
- ②給付費の1割負担が影響し、利用者1名が5月末で自主的に利用を終了した。今後も給付費の1割負担が生じた利用者が利用を終了する可能性があり、経営的に大きな課題であることは変わらない。企業には給付費の1割負担分の金額を何らかの手当で本人に支給する方法などを提案しているが、実現していない。

(2) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行する。

【成果と課題】

適切に予算の補正を行い計画的に執行できた。

7 事故等報告

- 1) なし。

8 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間
(2) 開所時間 午前9時～午後5時
(3) 年間延開所日数 243日間

9 利用状況

- 1) 利用者延人員 122人

10 利用者状況（令和5年3月31日現在）

1) 年齢

- | | |
|------------|----|
| 18歳以上20歳未満 | 0名 |
| 20歳以上30歳未満 | 7名 |
| 30歳以上40歳未満 | 3名 |
| 40歳以上50歳未満 | 0名 |
| 50歳以上60歳未満 | 1名 |

2) 障害の状況

- | | |
|---------------|------------------|
| 愛の手帳3度 | 1名 |
| 愛の手帳4度 | 3名 |
| 精神障害者保健福祉手帳2級 | 4名 |
| 精神障害者保健福祉手帳3級 | 2名 |
| 身体障害者手帳 | 2名（1名は愛の手帳4度と重複） |

3) 居住状況

- | | | | |
|------|----|------|----|
| 管内居住 | 8名 | 管外居住 | 3名 |
|------|----|------|----|

4) 性別

- | | | | |
|----|----|----|----|
| 男性 | 8名 | 女性 | 3名 |
|----|----|----|----|